

ウェーブレット



性別にとらわれない職業選択へ
絵本が育てる子どもの将来
.....2・3

子育てに新たな選択肢
「こども誰でも通園制度」が
全国でスタート
.....4

誰もが働きやすい職場をめざして
企業に広がる女性活躍の取り組み
.....5

男女共同参画週間「吉田恵里香さん講演会」リポート
「はて？」の先の未来へ
.....6・7

あいめっせ通信
.....8





性別にとらわれない職業選択へ

が育てる子どもの将来

子どもの発達過程において、3歳から5歳頃には、自分なりの言葉で話せるようになり、絵本やしりとりなどの遊びの中で、読み書きに関連した行動をするようになると言われています。では、幼児期に触れた絵本は子どものジェンダー意識や将来の職業選択にどのような影響を与えるのでしょうか？絵本の登場人物のキャリアとジェンダーに関する研究をされた、大阪教育大学教授の石川聡子さんにお話を伺いました。



doctor
scientist



astronaut
factory worker



石川聡子さん

大阪教育大学 理数情報教育系 教授

〈プロフィール〉

大阪大学大学院工学研究科修了、博士(工学)。1999年4月大阪教育大学に着任、2014年4月から現職。専門は環境教育、科学教育。理科教育の立場から、科学技術に関する職業教育の研究などに取り組んでいる。論文に「子ども向け絵本に描かれた登場人物のキャリアとジェンダー — 女性の科学技術系人材育成の背景にあるもの —」「科学をどう捉えて環境を学び教えるか」など。



Q1

2021年に論文「子ども向け絵本に描かれた登場人物のキャリアとジェンダー — 女性の科学技術系人材育成の背景にあるもの —」を発表されました。絵本の内容のどういった点に注目して研究されたのでしょうか。

今回の研究では、絵本に描かれた登場人物のキャリア、特に科学技術分野のキャリアとジェンダーの関係を明らかにすることを目的に、幼稚園や保育園、家庭で読まれてきた月刊絵本の登場人物の職業を調べました。1950年代から2010年代までに刊行された2000冊以上の全てを、総務省統計局の職業分類に当てはめて数えてみたのです。

その結果、男女雇用機会均等法施行の前後で比べると、法施行以降は職業を持つ女性の人数が増えていました。つまり、絵本の内容も社会の変化の影響を受けていると考えられます。ところが、科学技術分野の職業の女性登場人物は少数で、法施行以降も男女割合の差の解消傾向がみられないことがわかりました。

Q2

ジェンダー平等や理工系分野での女性活躍の観点から、家庭での絵本の読み聞かせなど、幼少期の教育が、将来の職業選択や社会進出にどのような影響を及ぼすとお考えでしょうか。

子どもは、絵本だけでなく、アニメや漫画、周囲の大人など、いろいろなものから影響を受けています。絵本はその中の一つにすぎないとも言えますが、絵本の読み聞かせをすることはとてもよいことだと思っています。今はインターネットやSNSを見る時間が長くなる傾向にあるので、本に触れ、活字に親しむ機会は大切です。その中で、絵本に描かれる登場人物の役割にジェンダーバイアスがあるよりは、



ジェンダーにとらわれない世界が描かれている方がいい。例えば、女の子が夢を追いかけるときに「科学者は男の子の仕事」と思い込んでしまうようでは、やはり不本意なことです。

私自身も、小学生の頃に「女の子は将棋を知らない



性別にとらわれない職業選択を応援 「リコチャレ」

女子学生が理工系分野に興味を持ち、将来の進路として選択することを応援する「理工チャレンジ事業(リコチャレ)」が内閣府男女共同参画局の呼びかけで、全国の自治体や大学、企業で行われています。



性別にとらわれず自分がやりたいことを

「男性は理系、女性は文系」という固定観念をなくし、女子学生が自身の可能性を制限せずに、理工系分野を将来の進路として考えられるようにします。

社会や経済、産業技術の発展にも

人材不足が課題となっている理工系分野において、性別で区別せず優秀な人材を育成・確保することは社会や経済の持続的な発展に不可欠です。また、研究開発の現場に多様な視点や発想が加わることで、新たな価値の創造や技術の発展につながります。

くていい」と言われた経験がありました。将棋を知ることや「自分には求められていないんだ」と残念に感じた記憶は、今でも強く残っています。子どもの興味や関心に対して、周囲の大人が制限するようなことを言ってしまう、また、言葉になっていなくても隠れたメッセージを子どもが受け取ってしまうということはあると思います。ですから、ある価値観によって男の子も女の子も無意識のうちに可能性を狭められてしまうようなことについては、改善していかなければなりません。

また、文系でも理系でも、働く人の姿を知ることや、いろいろな職業の情報が子どもたちに伝わることは、いいことだと思います。中学生に理系の職業を聞くと「科学者」や「医者」くらいしか出てこないということがあります。実際には技術者や技能者を含めて、科学技術に関わる仕事はたくさんあります。文系・理系に関わらず、いろんな仕事を細かく見て、多くの職種に科学や科学技術の知識が関わっていることを子どもに気づかせることができるとよいと思います。

Q3

女性の理系分野への進出を伸ばす上で、幼児期の教育について、具体的にどのような取り組みが重要だとお考えですか。

まず大切なのは、子どもを取り巻く大人の価値観をアップデートすることだと思います。「男の子だから」「女の子だから」という見方を見直し、性別による思い込みに気づくことが必要です。たとえば、「男の子だからこうしなさい」というときに、はたしてそれを女の子にも言うだろうかと考えてみる、点検してみる。若い世代の方であっても、そういう形で価値観を見直していくことが大事だと思います。

また、自分の職業選択や社会での役割を考える上では、自分に自信を持てるかどうかが大きく関係しています。学校の成績ではなく、「好きなこと・得意なことがある」「やってみたいことがある」という体験の積み重ねが大切です。周りの大人がそれを褒め、共感しながら、「好き」や「得意」を育てていくことで、子どもの自己実現につながると思います。

時間やお金をかけなくても、ちょっとした体験を積み重ねることで、子どものできることを増やしていくことはできます。例えば、インターネットでは理科の実験やものづくりなど、子ども向けコンテンツがた



くさん公開されています。それを、家族で見たり、一緒にものづくりをしたりして、「楽しかったね」「次はこんなことをやってみよう」と話すような体験を通して、子どもが好きなことや関心のあることを伸ばして、自信を持たせてあげることが大事なのではないかと思います。

子どもの頃の教育が、大人になってからの職業選択や社会進出にどう関わるかというのは、大きな社会的課題です。OECD(経済協力開発機構)の研究で、就学前教育を受けたグループとそうでないグループを長期的に追跡したところ、就学前教育が充実しているほうが、大人になってから健康状態がよく、学力も高く、年収も高いということが示されています。小学校に上がる前の教育の質を高めることで、学力だけでなく、自信を持つ力や自分をコントロールする力、人と協調する力、コミュニケーション能力など、いわゆる非認知能力(意欲や自制心、協調性など学力以外の力)が高まることがわかっています。そうした力が育つことで、社会に出て活躍しやすくなると思います。

Q4

これから未来を選ぼうとする子どもたちにメッセージをお願いします。

子どもたちには、たくさん遊んで、たくさん友達をつくって、いろいろな経験をしてほしい、ということを伝えたいですね。

自分が好きなことを見つけるためには、いろいろな体験をすることが大切だと思います。本をたくさん読んでほしいですね。また、近くの公園や川辺を散歩したり、学校の校庭で草花を見つけたりするのもいいと思います。そうした身近な経験を通して、「自分はこんなことが得意だな」「こんなことが好きだな」と思えるものが見つかれば、それがその子のよさにつながっていくのではないかと思います。

絵本の読み聞かせなど家庭での幼児教育の中でも、「性別役割分担意識をなくすことについて親子で考えてみる」「性別に関係なく何にでもなれるというメッセージを伝えていく」などの工夫が大切ですね。



絵本紹介

「子どもと一緒にジェンダーについて考えたい」「自分の将来を性別にとらわれずに考えられるようになってほしい」—そんなときにヒントになる絵本を紹介します。

「たかく とびたて 女の子」
ラケル・ディアス・レゲラ/作・絵
星野 由美/訳
汐文社



「女の子はなんでもできる!」
(ハヤカワ・ジュニア・ブックス)
キャリル・ハート、アリー・バイ/著
富永 愛/訳
早川書房



「女の子だから、男の子だからをなくす本」
ユン・ウンジュ/著 イ・ヘジョン/絵
ソ・ハンソル/監修 すんみ/訳
エトセトラブックス



「こども誰でも通園制度」 が全国でスタート

2026年4月から全国で運用が始まった「こども誰でも通園制度」。保護者が就労していなくても保育所などを利用できるこの制度は、子育てに新しい選択肢を提供する試みと言えるでしょう。姫路市での運用状況や受け入れ施設の現状など、お話を伺いました。



姫路市の利用者アンケートでは 「満足度90%超」



「こども誰でも通園制度」は、「保育士や年齢の近い子どもとの関わりや、家庭では体験できない遊びや学びを通して、子どもの継続的な育ちを応援する」「保護者にとっては月に一定時間、子どもと離れ自分のための時間を過ごすことで、育児に関する負担感の軽減につなげる」などの目的により設けられた制度です。子どもの世界を広げるだけでなく、保護者と社会のつながりを作り、育児期にあっても保護者が社会で活躍するための後押しとなるものです。

姫路市では2024年度から先行モデル事業として運用を開始。2026年度は公立・私立の保育所・こども園15施設で受け入れを行っています。モデル事業を担当した幼保連携政策課によれば、開始当初から問い合わせは多く、申込数も増えているとのこと。「誰でも、どこでも利用できるのがこの制度の特長。里帰り中や、入園前に定期的な集団活動を経験できるなど、今まではできなかったタイプの利用も可能になりました。保護者の方からは、他の子どもと遊ぶことで成長してほしい、家庭では得られない刺激に期待したい、などの声が多いですね」(同課・藪上江梨さん)。

利用者アンケートを実施したところ、「また利用したい」と答えた人は90%超と多く、言葉の発達や友達との関わり方など、子どもの成長につながったとの回答が寄せられているそうです。

制度の概要

対象となる子ども

- 次のすべてを満たす子どもが利用できる。
- ①居住地の市町村で認定を受けている。
 - ②利用日時時点で生後6か月から満3歳未満(3歳の誕生日の前々日まで)である。
 - ③保育所、幼稚園、認定こども園、企業主導型保育事業所に在籍していない。
- ※保護者の就労状況は不問。
※居住地以外の施設も利用可能。
ただし、認定は居住自治体で行う。



利用可能時間

子ども1人あたり月10時間を上限とする。

利用料等

子ども1人1時間あたり300円を標準とする(施設により異なる場合あり)。施設により、実費負担が必要な場合あり。

利用方法(姫路市で認定を受ける場合)

姫路市オンライン手続ポータルサイトから認定申請を行い、利用者アカウントの発行を受けた上で、希望する施設へ申し込み(詳しくは姫路市ウェブサイトを確認)。

(2026年4月1日現在)

受け入れ施設では 体制づくりでの課題も



受け入れ施設のひとつ、高浜保育所を訪問しました。こちらでは平日の午前9時30分～11時30分、午後1時～3時の時間帯で、0歳児～2歳児を曜日別に受け入れています。訪問日は1歳児の受け入れ日で、5人が専用室や園庭で過ごしていました。

保育士の坂本夏美さんによれば、「保護者と離れたことがない子どもたちなので、安心して過ごせる環境や信頼関係づくりを心がけています。保護者の方からは、家事がはかどった、リフレッシュできたなどの声が聞かれます。また、きょうだいの1人を預けて、もう1人とゆっくり関わる時間を作るといった利用をされている方もあります」と、保護者に余裕ができていく印象があるとのこと。



一方で、申し込みが多い場合に抽選で受け入れが決まる(施設により異なる)など、続けて利

お話を聞いたのは



高浜保育所
所長
屋田恵美さん



保育士
坂本夏美さん

用できるとは限らないことや、年度の途中でであっても利用は3歳になるまでとされていることなど、利用者にとって不便に感じられる点もあり、今後の課題と言えそうです。

所長の屋田恵美さんは、「柔軟な保育が可能な制度で、ニーズも高い。在宅ワーカーの利用者もいらっしゃいます。また、育児・介護短時間勤務制度等を利用する保育士が活躍できるというメリットもあります」と評価。一方、「利用者に関しては、日ごろから情報を積極的に収集している方が多い印象です。困っている方に情報が行き届いているのかという点は気になっていますね」との指摘も。

現状では地域による受け入れ施設数の偏りや、保育士の確保などの問題、利用者からの要望への対応など、課題は少なくないと言えます。しかし、ニーズの高さや反響からは、多様なライフスタイルに対応した、子育て世帯が求める制度であることが伺えます。

問い合わせ先
姫路市こども保育課
TEL 079-221-2313

姫路市の「こども誰でも通園制度」については
姫路市子育て応援サイト わくわくチャイルド



誰もが働きやすい職場をめざして

企業に広がる
女性活躍の
取り組み



2016年に女性活躍推進法が施行されて今年で10年。その間、女性をとりまく職場環境も変化をしてきました。今回は、職場における女性活躍や働きやすい環境づくりの取り組みの一例として、姫路市の女性活躍推進企業として表彰されている姫路信用金庫取材し、その取り組みについてお話を伺いました。さらに、国や自治体が設ける女性活躍を応援する認定制度も取り上げます。

取材企業：姫路信用金庫(えるぼし2つ星・くるみん・ミモザ企業 認定)

どのような取り組みをされ、 どのような成果がありましたか

姫路信用金庫
戦略室 副室長 構 康裕さん

制度上、育児中の時短勤務は最長小学校就学前までですが、当金庫では小学校3年生まで認めており、一般的に無給となる養育両立支援休暇も有給扱いとし、取得しやすくしています。

また、女性のキャリア形成の観点から、性別関係なく様々な研修や業務にチャレンジできるようにしました。その結果、2026年3月時点で管理監督者(支店長など)に占める女性の割合は30%を超え、役席者(支店長代理など)に占める女性の割合は半数を超えています。働きやすさを実感しているからか、2025年度の新入職員の離職者は0でした。



より働きやすい職場づくりに 向けて課題はありますか

姫路信用金庫
運用部 部長代理 蔭山 真子さん

女性の育児休暇取得率は100%ですが、男性は育児休暇や時短勤務には抵抗があるようです。私の育児休暇中、同じ職場の夫も「産後パパ育休制度」を使って1か月の休暇をとるよう上司から勧められたのですが、あまり休みませんでした。男性は休むことへの心理的なハードルが高いようで、意識改革が課題だと感じます。



働く女性として、どのような 成果を感じておられますか

姫路信用金庫
企画室 次長 前澤 美穂さん

私は小学生の子どもがいるので時短勤務を活用していますが、本当にありがたいです。以前は9時～16時の勤務、今は朝夕15分ずつ時短など、柔軟に取ることができます。制度があることが周知されて、利用することへの気まづさがなくなりました。まわりの配慮もあり、心の余裕を持って仕事に取り組んでいます。



女性活躍推進企業や 子育て支援の認定を受けている ことについてどう感じていますか

姫路信用金庫
太子支店 小川 晴香さん

私は認定申請にかかわる仕事をしたので、とても誇らしく思います。就職活動する人にとって、働きやすさは会社選びの重要な視点の一つで、えるぼし、ミモザ企業といった認定は、一目でわかるブランド力になっています。ただ、出産・育児を経験してみて、制度だけではなく周囲の配慮や声かけがとても大切だと痛感しました。



最後に、働きやすい職場づくりのためには何が一番大切だと思うかをたずねたところ、皆さんが「思いやり」と答えておられたのが印象的でした。制度が整っていても、それがうまく運用されるかどうかは、お互いの立場を理解し協力し合う姿勢にかかっているということを感じました。

女性活躍
推進企業
随時募集中

姫路市女性活躍推進企業表彰

姫路市では、女性の育成・登用や職場環境の改善等、女性の活躍に積極的に取り組む企業を表彰しています。

表彰制度の概要や過去の受賞企業は、こちら



女性活躍を応援する認定制度

国や自治体では、女性活躍推進法に基づいた女性活躍に積極的な企業を認定しています。
※2026年4月1日現在の一例です。



えるぼしプラス
女性の健康支援に取り組む企業を厚生労働大臣が認定。2026年4月1日から創設(3段階+プラチナ認定)



えるぼし
女性の活躍推進に関する取り組みが優良な企業に対して、厚生労働大臣が認定(3段階+プラチナ認定)



くるみん
子育てサポート企業に対して、厚生労働大臣が認定。さらに、不妊治療と仕事の両立に取り組む企業には「プラス認定」も



ミモザ企業
女性活躍や多様な働き方等に積極的に取り組む企業に対して、兵庫県と神戸市が認定(3段階)



男女共同参画週間

「吉田恵里香さん講演会」レポート



「はて？」の先の未来へ

～作品に込めた問いかけの力～

2026年6月14日、脚本家で小説家の吉田恵里香さんを講師にお招きし、姫路市市民会館大ホールにて男女共同参画週間講演会が開催されました。NHK連続テレビ小説『虎に翼』への想いと脚本の骨格になった憲法第14条や、ジェンダー平等、人権、差別、偏見などについてご自身の気づきや経験を含めてお話しいただきました。

男女共同参画週間とは

毎年6月23日～29日は男女共同参画週間です。男女共同参画基本法の目的及び基本理念について理解を深めることを目的に定められました。男女共同参画社会をめざして全国各地で様々な啓発活動が行われています。

『虎に翼』の誕生

NHKドラマ『恋せぬふたり』で他者に恋愛感情や性的欲求を(ほとんど)抱かないアロマンティック・アセクシュアルの主人公のドラマを書きました。その経験からお声がけをいただいて、朝ドラ『虎に翼』の脚本を担当することになりました。当初は「何者にもなれない主人公」が介護や家事などの様々なケア労働を通して人々と対峙する話を考えていましたが、日本初の女性裁判所長の三淵嘉子さんを知り、彼女をモデルに、ケア労働や人権の話を結び付けたドラマにしたいと思いました。

脚本家・小説家 吉田恵里香さん

1987年生まれ。
2024年度前期連続テレビ小説『虎に翼』、映画『ヒロイン失格』、ドラマ『君の花になる』など、テレビドラマや映画、アニメなど数々のヒット作の脚本を手がける。ドラマ『恋せぬふたり』で第40回向田邦子賞・第77回文化庁芸術祭優秀賞、アニメ『ぼっち・ざ・ろっく!』で第9回ANIME TRENDING AWARDS最優秀脚色賞を受賞。執筆した小説に『恋せぬふたり』『にじゅうよんのひとみ』などがある。

憲法第14条と作品に込めた想い

『虎に翼』の骨格となったのは、日本国憲法第14条第1項です。昭和史や法律の勉強をしていく中で一番自分の心に刺さり、純粋に心が震えて感動したので、その気持ちを大事にしたいと思いました。今なお14条のおかげで何かと戦えていたり、それを盾に頑張っていたり、支えに生きている人がたくさんいます。ところが現実の社会では、男らしさ、女らしさ、〇〇らしさのような決めつけが多く、だからこそ主人公が何事も決めつけることなく生きる姿を描きました。ドラマ内のエピソードで言えば、(完璧な母親という固定観念を離れ、手抜きを楽しむ様子を描いた)親子で夕飯の代わりにお菓子を食べるシーンなどです。これらの枝葉の部分に存在する社会の「当たり前」を少しずつ剥がして、問いかけを行った作品です。

日本国憲法第14条第1項

すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

「はて？」の先の未来へ —社会が優しくなるきっかけに

主人公・寅子の口癖である「はて？」。これは、おかしい、腑に落ちないと感じたことを声に出すことで相手と対話し解決の糸口を探る、そのきっかけとなる言葉です。相手に対してだけでなく、自問の言葉でもあります。私たちも声を上げづらいときもあると思います。それでも、例えば、いじられて嫌がっている人を笑わない、またはちょっと目を見開いて違和感を示す、差別を受けた人に寄り添うなど、小さな一歩でも変わることがあるので、できることは無限にあると感じています。

差別や偏見、 不平等に目を向ける



現在の日本は、ジェンダーギャップ指数でも低い順位に位置しており、差別や偏見のない社会とは言えません。物事を単純化した箱のようなものに入れて考えてしまう人も、自分は差別されたことがないから差別される他の人の気持ちはわからないと感じる人もいます。しかし、見えていないだけで差別や不平等は存在しています。わからない人がいたら、周囲の人が「こんな格差が社会にはあるんだよ」とちょとずつでも伝えてほしいです。

誠実でいることの大切さ

自分自身が誠実さを持つこと、信じる想いを一つ一つ積み重ねることが変化につながります。でも、無理をして声を上げ続ける必要はなく、心や体が疲れたときは休んでください。そして元気になったときに再び声を出したり、できることをしたり、対話を重ねたりすることで周囲は少しずつ変わっていきます。私も誰かの心をちょっと軽くしたり、自分語りができたりするきっかけになる作品を作り続けていきたいと思っています。



誰もが自分らしく輝ける
未来を作るために



いろいろなことが変わりつつある時代で、今、私たちが「はて？」と問いかね、声を上げること、頑張ったこと、守ろうとしたことは決して無駄にならないですし、その声は消えません。自分のこの今の日常が歴史の教科書に載ったとき、ちゃんと胸を張れる大人で私はいたい。だから、皆さんも踏ん張れる大人は踏ん張りましょう。そして何より自分自身を大切にしてください。

質疑応答

事前に参加者から寄せられた質問に丁寧にお答えいただきました。一部をご紹介します。



『虎に翼』で「透明で、いなかった
ことにされてきた存在」を書いた
のはどのような想いからですか？



私自身のエンタメ業界の経験と、『虎に翼』のテーマが人権なので、ここでやるべし、と思ってやりました。登場人物はたくさんいますが、みんな私たちと共に生きているわけなので、「それぞれの人をいなかったことにすることなく書く」ということを大事にしました。

これからどのような作品を作っていきたいですか？

「何も成し遂げたものがない中年女性とその家族」の話を
書いています。近日中の完成をめざして頑張ろうと思ってい
ます。作品になるのを楽しみにしていただけると嬉し
いです。

どのような時に作品のアイデアが生まれるのですか？

日々のニュースやネットで見聞きした事件や出来事、ジェンダー観についての怒りやモヤモヤを感じたときです。私が書くことで、多くの人を知るきっかけになればと思います。また、私が気づいたり、目についたことを書いた一行、一言で救われる人がいるので、それを大事にしたいと思います。

子どもたちへのメッセージをお願いします

自分の心を大事にしてください。もし、しんどい時には1年後や5年後の自分が今の選択を喜ぶか喜ばないかを考え、「今逃げるべし」と来年の自分が言うならば逃げることも大事だと思います。ずっと張り詰めてなくていい。大人を信じて、無理をせず、思いのままに生きてください。



○ 参加者アンケートより

- 参加者アンケートより
- わかり合うことは難しいが、わかり合おうとすることが大事ということに気づきました。
 - 0か100かではなく、あいまいさを受け入れ、いろんな価値観を認めることが大切だとわかりました。
 - 違和感に対して、声を上げることが難しくても、態度や表情で示すのもありと聞き、できることからやりたいと思いました。

あいめっせ

I-messae 通信

今号から“あいめっせ”の活動などを
お伝えする「あいめっせ通信」を掲載します。
初回は“あいめっせ”がどのような施設
を紹介します。



あいめっせHP

I-messae Newsletter

“あいめっせ”ってどういう意味？

姫路市男女共同参画推進センターの愛称です。「愛あるメッセージ」と、「私はこう思う、こうしたい」と発信する“I message”の2つの意味が込められています。



“あいめっせ”ってどんな施設？

姫路市の男女共同参画を推進するための拠点施設です。活動の場として「あいめっせホール」「創作室」「料理室」「フィットネスルーム」を備え、一般の方への貸室も行っています。また、図書情報コーナーでは、男女共同参画に関する図書や雑誌、DVDなどを所蔵し、どなたでも閲覧することができます(市内在住・在勤・在学者には貸出も可)。



図書情報コーナー



創作室

“あいめっせ”では何をしているの？

“あいめっせ”では主に次のような事業を行っています。

男女共同参画プラン

「姫路市男女共同参画プラン」を策定し、施策の推進や進捗管理を行っています。

各種啓発事業

男女共同参画に関する講演会や講座・セミナー・理工チャレンジ事業などの啓発イベントを開催するほか、各種啓発資料の発行・配布を行っています。



情報収集・提供事業

本誌「ウエーブレット」の発行や左記の図書情報コーナーの運営など、男女共同参画に関する情報を収集し、男女共同参画の視点から情報の提供や発信を行っています。

各種相談事業

「女性のための相談室」では、女性問題相談員が、女性が抱える様々な悩み相談に応じるほか、法律相談も行っています。また、「男性のための電話相談」や「女性のためのチャレンジ相談」を行っています。



編集後記

大阪教育大学の石川聡子先生から、絵本についての研究成果をインタビューさせていただき、ジェンダー問題を考えるきっかけになりました。子育て世代だけでなく、多くの市民の方に読んでいただきたいと思います。(松井)

自分では全く記憶にないのですが、5歳頃の私は母に頼んで「お嫁さん」のコスプレをしていたそう。「嫁」に憧れたことは一度もないはずなのに。「女の子だから」というフレーズを見ると、意識下の自分を想像して妙な気持ちになります。(本上)

今回、取材を通して女性の仕事に対する考え方や職場の環境が大きく変わってきていることを実感しました。4年生大卒の女子に求人が来ない、結婚や出産を機に退職するのが当たり前という時代を経験した私は、少しうらやましさを感じながらも、生き生きと活躍する女性たちにエールを送りたいと思います。(松尾)

吉田恵里香さん講演会では、彼女の紡ぐ言葉に深く共感しました。人ごとに胸を打つ一言は違っても、どなたにも響く「小さなきっかけ」になったはず。ぜひ一度、男女共同参画の講演会に訪れてみてください。新たな発見があるに違いありません。(東)

ウエーブレット編集委員

聞かせてください

あなたの声！

第64号、ご覧になっていかがでしたか？
ご意見・ご感想などあなたからの
発信をお待ちしています。



ご意見・ご感想は
こちらから

ウエーブレットはここにあります

あいめっせ、市政情報センター、各地域事務所、各支所・出張所・サービスセンター、駅前市役所、市民会館、各市民センター、各公民館、城内図書館、姫路文学館、生涯学習大学校、好古学園大学校、キャスパホール、各総合センター、すこやかセンター、アクリエひめじ、市民活動・ボランティアサポートセンター、青少年センター など



住むほどに
好きが深まる
姫のまち

■編集／姫路市 市民局 市民参画部 男女共同参画推進センター“あいめっせ”

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68番地290 イーグレひめじ3階 Tel 079-287-0803 Fax 079-287-0805
電子メール i-messae@city.himeji.lg.jp

あいめっせ

